

平成22年度 公益財団法人信頼資本財団 事業報告書

目次	ページ
I. 基本方針	2
II 事業内容	
1. 融資事業(公益目的事業1)	2-4
2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)	4
3. 社会デザイン事業(収益事業1)	4
4. 社会企業家育成事業(収益事業2)	4-5
5. その他事業(セミナー等)	5-6
6. メディア掲載等	6
III. 評議員会、理事会	6-7
IV. 管理部門	
1. 業務執行体制の整備と強化	7
V. 会計報告	7

I. 基本方針

当年度は、公益事業、収益事業共に、自然資本と社会関係資本の価値の質的向上と価値の量的増大につながる事業の支援を行うために、次の4点を軸に事業を行った。

- (1) 社会的事業に対し融資を行う。
- (2) 融資事業から獲得できる人と人との関係性や知恵・知見を蓄積し、新たな人間関係を提供できる仕組みを構築する。
- (3) 獲得した知見・知恵や人的関係を使って、企業や自治体が求める社会責任的 事業支援を行い、場合によっては事業化に携わる。
- (4) 社会企業家育成の機能を構築する。

II. 事業報告

1. 融資事業(公益目的事業1)

当年度は、農林水産畜産業、環境、福祉、医療、教育、人権など、「信頼」関係の向上と増大につながる領域の事業に対しての融資事業を開始した。

■融資実績

当年度の融資実績は、通常融資(第1期、2期)を5件実施し、融資合計は1,250万円であった。また、つなぎ融資は1件実施し、融資合計は300万円であった。したがって、当年度の融資事業実績の合計は6件となり、融資総額は1,550万円であった。

また、融資先からの返済に関して、当年度は遅延や貸倒等は発生しなかった。

詳細は以下のとおりである。

(1) 通常融資

◆第1期融資

- ・募集期間:2010年3月15日～4月30日
- ・申し込み件数:6件
- ・第1次審査通過事業:5件
- ・融資審査会実施:2010年6月9日
- ・融資件数:2件(株式会社オモレイ、株式会社ソリテ)

(融資内訳)

- ①株式会社オモレイ:300万円(24カ月)
- ②株式会社ソリテ:200万円(25カ月)

第1期融資合計:500万円

◆第2期融資

- ・募集期間:2010年8月15日～9月30日
- ・申し込み件数:6件

- ・第1次審査通過事業:3件
 - ・融資審査会(予定):2010年12月1日
 - ・融資件数:3件(株式会社エムディーアイ、NPO法人エクスクラメーションスタイル、memis)
- ※契約手続き中のものを含む

(融資内訳)

- ①株式会社エムディーアイ:300万円(25カ月)
- ②NPO法人エクスクラメーションスタイル:300万円(23カ月)
- ③memis:150万円(24カ月)

第2期融資合計:750万円

(2)つなぎ融資

- ・申し込み件数:1件
- ・融資件数:1件(合資会社 Neeth)

(融資内訳)

- ①合資会社 Neeth:300万円(2011年5月末一括返済)

つなぎ融資合計:300万円

(3)その他融資事業関連

「つなぎ融資」案件開拓の一環として、「内閣府 地域社会雇用創造事業(社会的企業支援基金)」の助成対象事業者をターゲットにアプローチを行った。具体的には、本助成事業の管理団体であるNPO法人ETICへ「SFA-PJ(ソーシャル・ファイナンス・アライアンス・プロジェクト)※」の提案を行い、財団を含む全国NPOバンク連絡会加盟バンクと既存金融機関との協働体制構築を視野に入れた、本助成対象事業への「つなぎ融資」の提案を行った。

結果として、まずはETICの行う第1期助成先に対する支援メニューに財団の融資を導入することが決定(対象は30団体、内融資希望は1~2件程度と予測)。今後第2期以降については、バンク連や既存金融機関との協働も視野に入れて取り組む予定。

※SFA(ソーシャル・ファイナンス・アライアンス)

◆ソーシャル・ファイナンス・アライアンス・プロジェクトとは

日本における社会的事業の創出・育成に必要な資金提供の担い手であるソーシャル・ファイナンス機関が協働することで、社会的インパクトの最大化を図るプロジェクト

◆ソーシャル・ファイナンス機関

本プロジェクトで対象とするソーシャル・ファイナンス機関は日本の非営利金融機関と見なせる以下の団体とする。

- ・NPOバンク
- ・信用金庫
- ・信用組合
- ・労働金庫

2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)

当年度は、融資事業を通して提供される社会的事業に関する知恵・知見や人的ネットワークを蓄積・データベース化するという、「知恵・知見の蓄積事業」を開始するべく、システム開発等を行った。

当年度は、データベース開発とインターネットを利用して情報公開を行った。情報公開については、段階的に公開範囲を広げていくこととし、当年度は公開範囲の異なる2つの領域を設定し公開した。公開範囲の1つ目は、財団WEBサイト上で閲覧可能な領域であり、2つ目はソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を用い、財団が設定する特定の社会的ネットワークに属する人(以下:「コミュニティ会員」という)のみが閲覧できる領域(以下:「信頼資本SNS」という)に分けて行った。

信頼資本SNSでは、毎月融資対象者から事業報告が行われており、それに対して財団や信頼責任者からコメントの記載などがなされている。

3. 社会デザイン事業(収益事業1)

当年度は、社会的事業企画・提案業務を行った。

(1) 社会的事業企画・提案業務

当年度は市場調査および企画を行い、協働先とともに以下のような企画が進行中である。毎月実施している経営相談会から企画へと発展する案件が出てきた。

【進行中企画】

- ①新規就農者支援事業
- ②育児・子育て支援事業 ※経営相談会から発展した企画
- ③ひとり親家庭&貧困状況にある家庭に育つ子供の教育を支える事業 ※経営相談会から発展した企画
- ④障がい者関連事業プレスト会(市場調査およびビジネスモデル模索) ※経営相談会から発展した企画
- ⑤授産施設品によるカフェメニュープロデュース事業 ※経営相談会から発展した企画
- ⑥ニート、引きこもり等の社会復帰事業支援事業

4. 社会企業家育成事業(収益事業2)

当年度は、4月より1回/月の頻度で「ソーシャルビジネス経営相談会」を実施し、9回で合計4

7件の相談に応じた。相談員は熊野理事長が担当した。

■相談実績

- ①第1回相談会(2010年4月20日):参加者7団体
- ②第2回相談会(2010年5月18日):参加者6団体
- ③第3回相談会(2010年6月22日):参加者4団体
- ④第4回相談会(2010年7月21日):参加者6団体
- ⑤第5回相談会(2010年8月24日):参加者5団体
- ⑥第6回相談会(2010年9月16日):参加者4団体
- ⑦第7回相談会(2010年10月26日):参加者4団体
- ⑧第8回相談会(2010年11月18日):参加者6団体
- ⑨第9回相談会(2010年12月13日):参加者5団体

合計相談件数:47件

■相談会と財団事業との関連性

①融資事業への誘導

相談会参加者から融資募集が2件あった。

②社会デザイン事業への発展

相談会から社会デザイン事業のもととなる企画が3件生まれた。(カフェメニュープロデュース)

③融資審査落選者へのフォロー

融資審査に通過しなかった団体の経営相談に応じ、フォローを行った。

5. その他事業(セミナー等)

①財団法人ハイライフ研究所にて財団事業紹介を Web で映像配信(2010年2月6日)【対応:鴨崎】

HOSP!(持続可能なコミュニティを本気で作る大人たちの会)をめぐる活動について紹介するシリーズの中で信頼資本財団の事業を紹介。Webにて映像配信。

②立教大学2010年度『21世紀社会デザイン研究科公開講演会』(挑戦へのチャンスと支える仕組み-資金の開発と循環)に講師として参加(2010年5月29日)【対応:鴨崎】

③NPO法人ETIC. ソーシャルビジネスの新しいファイナンスを考えるワークショップにゲストで参加(2010年6月29日)【対応:鴨崎】

④NPO法人千葉まちづくりサポートセンター「人を幸せに・地域を元気にするビジネス科」(厚生省

委託事業)講義(11月12日)「ソーシャルファイナンスの実例としての信託資本財団の取り組みについて」(鴨崎対応)

⑤信託資本財団×東大 共催シンポジウム(12月18日 開催)

『世界のルールが変わる!』人と社会を動かす利他×内発的動機づけ—信頼による持続可能な社会構築のために—

◆参加者:事前申し込み時点で定員の240名を超える申し込みがあり、当日も満席となった。

◆パネラー

①住 明正 氏(東京大学サステイナビリティ学連携研究機構地球持続戦略研究イニシアティブ統括ディレクター・教授)

②山岸 俊男 氏(北海道大学大学院文学研究科教授)

③鎌田 恭幸 氏(鎌倉投信株式会社代表取締役社長)

④渡邊 幸義 氏(株式会社アイエスエフネット代表取締役社長)

◆モデレーター

熊野 英介 氏(公益財団法人信託資本財団理事長)

6. メディア掲載等

①ダイヤモンド・オンライン(10月5日)「社会貢献を買う人たち」

世界が模索する「新しい資本主義」のあり方とは?「金融」で「社会問題」を解決する新たな動き に財団の記事が掲載。

②NHK ニュース「おはよう日本!」【放送日:11月9日(火)】「曲がり角”社会貢献ビジネス”課題と支援の試み」という特集の中で、新しい支援の試みとして、財団の融資事業が紹介されました。

Ⅲ. 評議員会、理事会

当年度は、評議員会1回、理事会3回を行った。

■評議員会

①第3回評議員会

・開催日時:2010年3月2日 18:00~20:00

・出席者:今井賢一氏、古在豊樹氏、野村彰男氏、石井友二氏(監事)、熊野英介氏(理事長)、鴨崎貴泰(書記)

◆主な議案:監査結果報告と事業報告および決算の承認について

■理事会

①第7回理事会

・開催日時:2010年2月19日(金) 17:00~20:00

・参加者

理事:熊野英介氏(理事長)、石川治江氏、岡田純氏、田中優氏、名越秀夫氏、吉久保誠一氏
事務局:鴨崎(書記)

・欠席者(予定者)

監事:石井友二氏

◆主な議案:監査結果報告と事業報告および決算の承認について。融資事業開始時期等について。

②第8回理事会

・開催日時: 2010年7月14日 17:00～20:00

・参加者

理事:熊野英介氏(理事長)、岡田純氏、田中優氏、名越秀夫氏

監事:石井友二氏

事務局:鴨崎(書記)

・欠席者

理事:石川治江氏、吉久保誠一氏

◆主な議案:前期事業報告と後期事業計画について

③第9回理事会

・開催日時: 2010年11月9日 17:00～21:00

・参加者

理事:熊野英介氏(理事長)、岡田純氏、田中優氏、名越秀夫氏、吉久保誠一氏

事務局:鴨崎(書記)

・欠席者: 石川治江氏(理事)、石井友二氏(監事)

◆主な議案:後期事業報告と平成23度計画および収支予算書の確認と承認について

IV. 管理部門

1. 業務執行体制の整備と強化

当年度は融資事業および知恵・知見の蓄積事業が本格的に開始されるのに伴い、業務量が増加したため、インターン生1名の受け入れを行った。

V. 会計報告

会計報告内容は、別紙「法人法で定める計算書類等」の通りである。

以上